

102-330

問題文

50歳女性。関節リウマチに対して、メトトレキサートで治療を開始した。6ヶ月間継続後、寛解の目標を達成できず、生物学的製剤の導入が検討された。関節リウマチに用いる生物学的製剤に関する記述のうち正しいのはどれか。2つ選べ。

1. いずれもTNF- α (腫瘍壊死因子- α)阻害薬である。
2. 痛み、腫れを抑えるが、関節破壊の進行を抑えることはできない。
3. TNF- α 阻害薬が奏功しない場合は、別のTNF- α 阻害薬を用いてもよい。
4. いずれもメトトレキサートとの併用が必須である。
5. いずれも治療開始前に結核の既往歴を確認する。

解答

3, 5

解説

選択肢 1 ですが

関節リウマチに用いる生物学的製剤には、TNF- α 阻害剤ではなく、IL-6受容体抗体 に対する抗体 や CTLA4 抗体 などもあります。よって、選択肢 1 は誤りです。

選択肢 2 ですが

関節破壊の進行も抑制することが知られています。よって、選択肢 2 は誤りです。

選択肢 3 は、正しい記述です。

選択肢 4 ですが

併用が必須である薬剤だけでなく、併用推奨の薬剤や、単剤でも併用と同様の効果が期待できる薬剤があります。いずれも必須では、ありません。よって、選択肢 4 は誤りです。

選択肢 5 は、正しい記述です。

結核の既往がある場合は総合的な判断を行い、対応します。予防的抗結核薬の投与を行う場合もあります。

以上より、正解は 3,5 です。